第42回宮崎県ミニバスケットボール交歓大会
兼 第18回フープスターサカイカップ

代表者会議資料

期日 平成３０年
８月５日 日
午後６時～

会場 宮崎市総合
体育館会議室

第 42 回宮崎県ミニバスケットボール交歓大会

兼　第 18 回フープスターサカイカップ　実施要項

１　大会名

第 42 回　宮崎県ミニバスケットボール交歓大会

２　主催

一般社団法人宮崎県バスケットボール協会

３　主管

一般社団法人宮崎県バスケットボール協会 U12 部会

４　後援

株式会社フープスターサカイ　株式会社大阪フォトサービス
日本教育シューズ協議会　都城給食センター

５　協賛

株式会社モルテン

６　目的

（１）　小学生のバスケットボールの技術の向上と選手相互の親睦を図る。
（２）　平成 30 年度全国・九州大会県予選会の出場チーム（ベスト８）を決定する。

７　期日

平成 30 年 8 月 25 日（土）、26 日（日）、9 月 1 日（土）、2 日（日）

８　会場

	男子Ⅰ部	女子Ⅰ部	男子Ⅱ部	女子Ⅱ部
8 月 25 日（土）	山之口体育館	山田町体育館		
8 月 26 日（日）	山之口体育館	山田町体育館	五十市小体育館	都城東小体育館
9 月 1 日（土）	男女Ⅰ・Ⅱ部３・４位早水体育館		山田町体育館	高崎総合体育館
9 月 2 日（日）	男女Ⅰ・Ⅱ部１・２位早水体育館		山田町体育館	高崎総合体育館

	男子Ⅲ部	女子Ⅲ部	男子Ⅳ部	女子Ⅳ部
8 月 25 日（土）	五十市小体育館	梅北小体育館	梅北小体育館	五十市小体育館
8 月 26 日（日）	梅北小体育館			
9 月　1 日（土）				
9 月　2 日（日）				

９　大会役員

大会会長　北郷　純一郎
大会副会長　上元　康正　佐多　裕之　山川　裕彦
大会役員　米田　史彦　西田　次良　金本　博　谷山　祥一　栗栖　健治
佐藤　真司　石川　祐二　堀内　泉
大会委員長　河野　光治
大会副委員長　兒玉　哲美　岩元　真史

１０　競技役員

総務委員長　上米良　剛
財務委員長　福田　紀代美

接待委員長　　北林　順子
式典委員長　　外村　哲史
審判委員長　　笠　真人
審判委員　　児玉　晃太
ＴＯ委員長　　川崎　健
ＴＯ委員　　外山　和彦
競技委員長　　浅利　敏彦
会場委員長　　安藤　正弘
総務・競技委員　本薗　忠士　堀内　幸　岡田　美菜子　井上　華澄　久保　真幸
上園　真輝　谷口　友美　久木山　和愛　堀内　豊　酒井　朋弘
内山　大　岩切　勇二　安藤　美徳　小泉　智貴　甲斐　修二
山川　和彦　富永　紘光

１１　チーム編成

（１） コーチ１人、アシスタントコーチ１人、マネージャー１人、保護者代表２人、選手１５人以内とする。（但し、大会１週間前までに日本バスケットボール協会への登録申請済み選手とする。）（保護者代表はベンチには座れない。）
（２） Ⅰ部～Ⅲ部リーグ（男女混成及び１０名未満のチームは出場できない。）
（３） Ⅳ部（オープン）リーグ　５名～９名のチームの出場を認める。会長杯終了後に１０名を満たした場合は、Ⅲ部リーグに編入する。

１２　競技方法

（１） 県会長杯の順位によりⅠ部～Ⅲ部に分け、リーグ戦を実施する。
（２） 予選ステージと順位決定ステージでリーグ内順位を決定する。
（３） １０名に満たないチームによるオープンリーグ（Ⅳ部）を設ける。
（４） パート内の順位決定方法は以下の通りとする。
①勝率　②直接対決の結果　③直接対決の得失点差　④直接対決の得点数　⑤総得失点差
ただし、Ⅲ部で直接対決のない場合は、２クォーターの順位決定戦を行う。

１３　競技規則

日本バスケットボール協会、ミニバスケットボール競技規則に準ずる。ただし、今大会には次のルールを用いる。
（１） ５－２－５－（３）－５－２－５分とする。第４クォーター終了時に同点の場合は、２分後に３分間の延長を行う。それでも同点の場合は、勝敗が決定するまで、２分後に３分間の延長を繰り返す。
（２） 男女混成チームの参加は認めない。
（３） 当日の選手が１０名に満たなかった場合、試合参加は認めるが、スコアは０－２０とする。
（４） ゾーン DF は禁止とする。また、全試合、それを判定するためのコミッショナーをおく。コミッショナーは大会役員及び審判，各チーム指導者が行う。規則はＪＢＡから出ている「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則る。
（５） 試合中に立って指示をするものは、試合前に TO にコーチライセンスの ID を見せて、腕章を受け取る。腕章をつけている者だけが、試合中に立って指示をすることができる。腕章がない指導者は、立って指示することはできない。腕章を試合中に別の者に付け替えた場合は、ベンチテクニカルとする。
（６） ベンチに入れるのは、指導者も含めて、メンバー表に書かれている人のみ。当日ベンチ入りする指導者や選手に変更があった場合は、TO と相手チームにメンバー表を提出して了承を得ること。

１４　審判、ＴＯ

（１） ＴＯの際にはルールを熟知した指導者もしくは保護者が子どもたちの後方に必ず立って下さい。
（２） 審判の配置は、県ミニ連審判部がその原案を作成し、県協会審判委員長の承認のもとに行う。

（３） １チームにつき１名、必ず帯同審判を出す。そのライセンスはD級以上、または、審判委員長がその技術を認めたＥ級とする。チームに該当者がいない場合は、そのチームの責任で前述のライセンス以上の帯同審判を依頼し確保する。なお、それらの帯同審判は、チームの勝ち負けに関わらず、大会全日程で審判ができる者に限る。
（４） 今大会は、コミッショナーは、違反を審判に知らせるために、ホイッスルを使用することとする。（コミッショナーはホイッスルを準備して下さい。）

１５　使　用　球

５号人工皮ボールを使用する。

１６　経　　費

参加料は以下の通り。
（１） Ⅰ・Ⅱ部リーグ　１５，０００円
（２） Ⅲ・Ⅳ部リーグ　　６，０００円
※　チームの試合参加に要する経費はチーム負担とする。

１７　参加申込

「参加申込」及び「参加料納付」については、TeamJBA のシステムより行う。
※　指導者 ID を登録していないチームは申し込みができませんので、必ずご確認ください。

１８　代表者会議

８月５日（日）　（宮崎市）宮崎市総合体育館大会議室　１８時～
(1) この大会要項をプリントアウトし各チーム持参すること。当日の配付はなし。
(2) チーム代表者が必ず１名のみ参加すること。

１９　熱中症対策

※　宮崎県バスケットボール協会 U12 部会では、子ども達の健康と安全を守るという観点から、できうる限りの熱中症対策をとりたいと考えています。指導者及び保護者の方々のご理解とご協力をお願いします。
（１） 今大会に限り、クォーター間を従来の１分より２分とする。
（２） 指導者は、試合前の練習やウォーミングアップにおいては、選手に給水する機会を与えなければならない。また、積極的に給水を促さなければならない。
（３） 指導者は、試合中においては、タイムアウトやクォーター間などに、積極的に選手に給水させなければならない。
（４） チームは、屋外での練習時の帽子の着用や氷嚢や濡れタオル等の冷却器具の活用、飲料水の十分な確保などの熱中症対策を講じなければならない。

２０　頭部外傷対応

試合中に転倒等により頭部を強打した選手は、脳しんとうの恐れがある限り、当日のプレイはできないこととします。選手の安全のため、ＪＢＡより出ている「頭部外傷に関する注意喚起・対処について」をよく読んでおいてください。当部会の HP にもリンクがあります。

２１　会場使用について

会場使用については下記のことを十分に注意することとする。
（１） 体育館シューズ（バスケットシューズ）と外ばきのシューズは区別すること。くつの管理は、各チームで行うこと。
（２） 体育館のはしごに登る等、危ない行為は絶対にさせないこと。
（３） 各会場、指定された場所のみで応援すること。なお、鳴り物は禁止とする。
（４） 学校は敷地内禁煙であるので厳守すること。チームで出したゴミ（弁当殻、飲み物など）はチームで必ず持ち帰ること。弁当殻を業者がとりに来るからといって、置いておくのも放置とみなします。
（５） 煙草の吸殻は各自保管すること。（缶などの中に入れたまま放置しないこと。）

※　弁当殻やごみ、たばこの吸い殻の放置があった場合には、故意ではなくとも没収試合とします。（試合結果は２０対０で負けとなります。）

（６）駐車場は各チーム指導者を含め５台までとし、駐車券を発行する。駐車券のない自動車は他の駐車場を各自・各チームで確保すること。また、バス及びマイクロバスについては各チームで待機場所を確保して下さい。

（７）各会場の駐車場については、役員の指示に従うこと。

（８）試合中の水分補給は、必ずシート上の椅子に着席した状態で行う。また、水の入ったバケツのフロアー（ベンチを含む）への持ち込みは不可。

（９）駐車可能時刻を８時２０分から。フロアーでの練習は会場準備ができ次第とする。

（１０）業者によるチームの写真撮影は、自分のチームの試合前に行う。

２２　そ　の　他

（１）暴力・暴言は厳禁。万が一あった場合は、指導者は即退場。その後、懲罰委員会の対象となる。

（２）大会パンフレットは作成しない。その代わりに、パンフレットのデータを出場申し込みのアドレスに返送するので、各チームで必要な部分を印刷して使用すること。
※掲載に当たり、各チームで、掲載することの了解を得ておくこと。

（３）参加チームはスポーツ障害保険に加入していること。選手のけがについては各チームで処理すること。万一、事故等が起こっても、主催者側は責任を負わない。

（４）本大会ベスト８のチームは全国・九州大会県予選会の出場権を得る。

（５）組み合わせ表の番号の若いチームが、淡色のユニホームを着用し、ベンチはＴＯに向かって右側とする。

（６）大会記念Ｔシャツはフープスターサカイ特設ブースで現金引換えで引き渡す。詳しくは代表者会議の時に説明する。

（７）開会式は行わないが、優勝旗とカップ返還及びレプリカ贈呈を前年度優勝チーム（男子：清武、女子：都城東）の初戦の試合前に行う。

（８）帯同審判は、必ず印鑑（シャチハタ不可）を持ってくること。

- 審判は、その日のうちに審判謝金を受け取ること。（翌日以降は支払わない。）その際、旅費日当精算書に、氏名（自署）と住所を記載し、謝金と引き換えに受領印を押印すること。

（９）指導者またはチーム代表者は、来場したら各会場の本部で受付を行い、ID を受け取ること。

- 受付の際に、帯同審判、コミッショナーの氏名を申告すること。

（１０）高崎体育館については、体育館横の駐車場には役員、来賓、指導者しか駐められません。

（１１）当日の代表者会議を８：３０～行います。

２３　試合開始予定時刻

1 試合目	2 試合目	3 試合目	4 試合目	5 試合目	6 試合目	7 試合目	8 試合目
9:00	9:50	10:40	11:30	12:20	13:10	14:00	14:50

早水会場は、3 日目の最後に閉会式を行う。

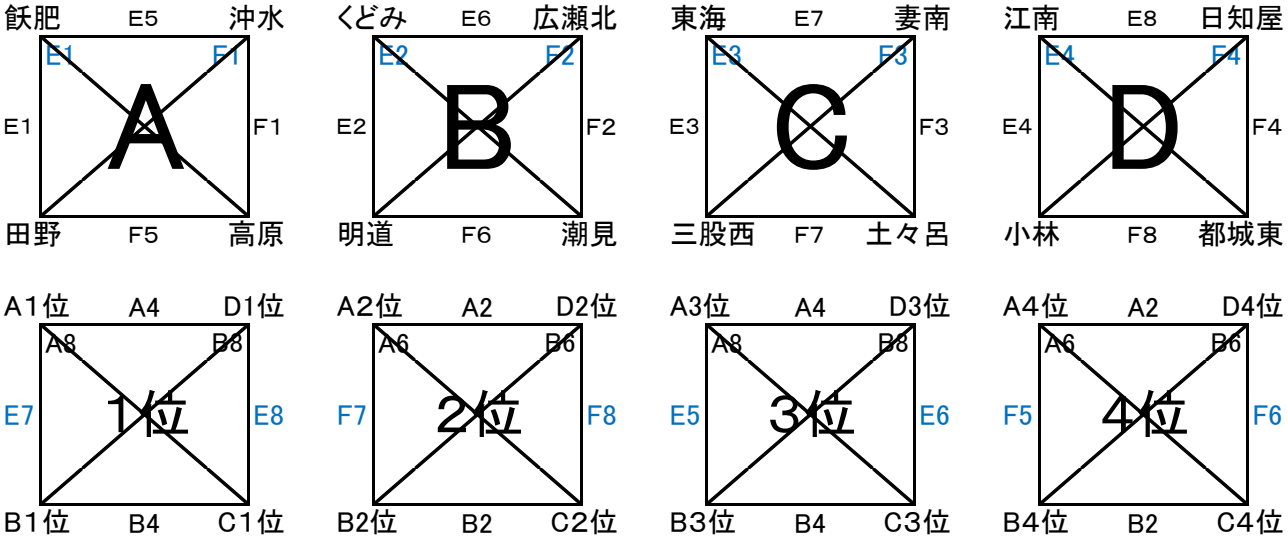
※　試合が延びた場合、１０分後に次の試合を開始する（ただし、各チームの初戦の場合は両チームの写真撮影から１０分後）。そのため、予定時刻が変わることがあるので、延びた試合以降の各チームは注意すること。）

２４　別途留意事項

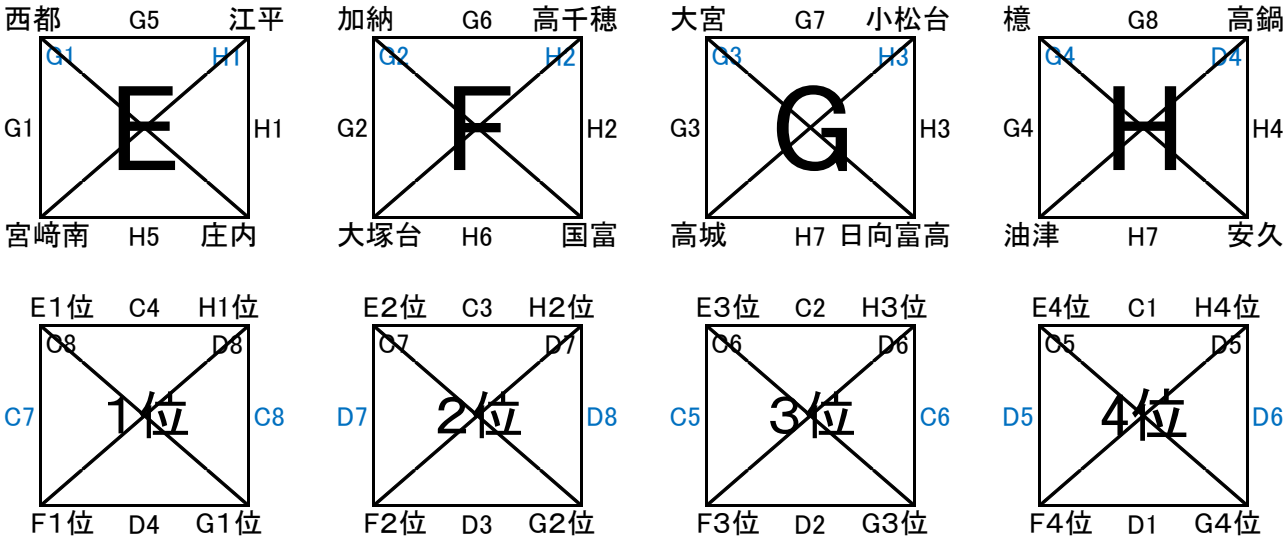
２５　各会場責任者

フープスターサカイカップ

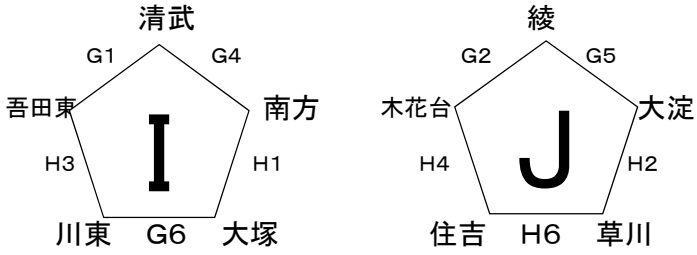
男子Ⅰ部　山之口体育館(E･Fコート)　8月25日･26日　早水体育館(A･Bコート)　9月1日、2日



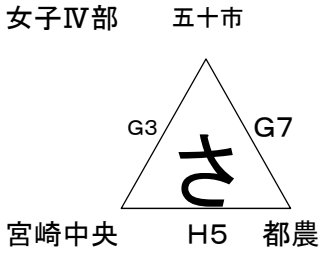
男子Ⅱ部　五十市小学校体育館(G･Hコート)　8月26日　山田体育館(C･Dコート)　9月1日･2日



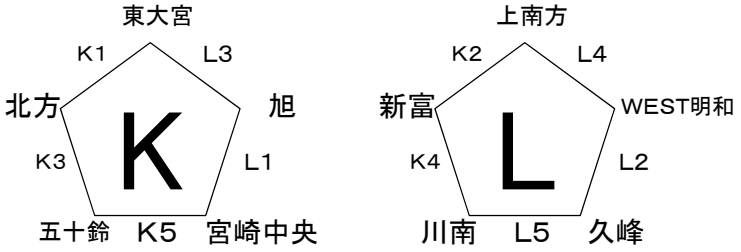
男子Ⅲ部　五十市小学校体育館　G･Hコート　8月25日



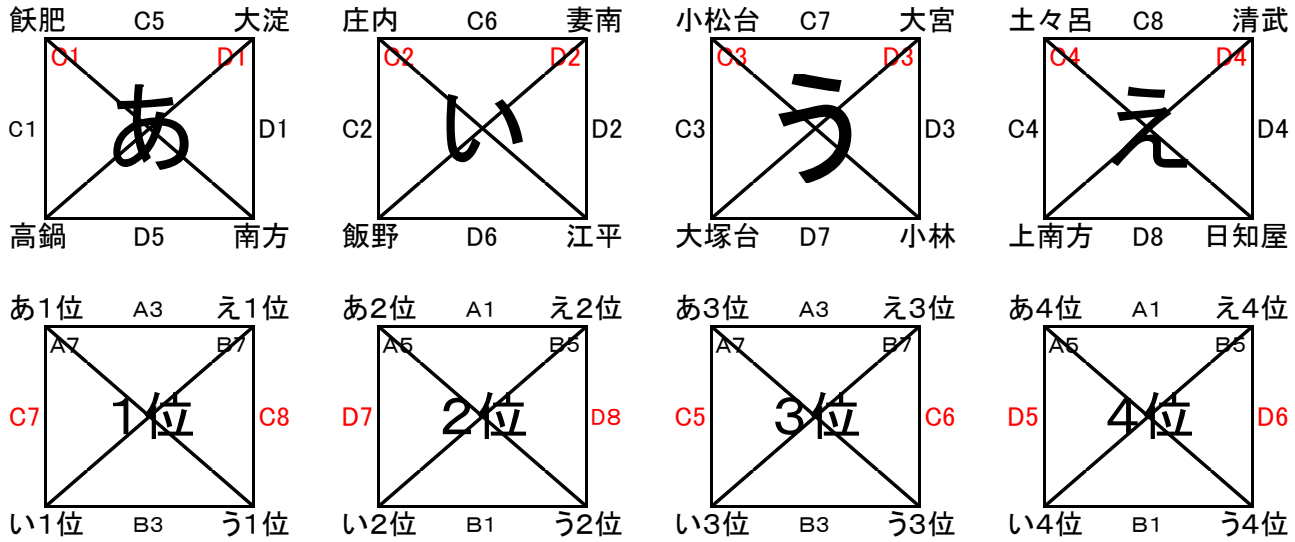
女子Ⅳ部　五十市



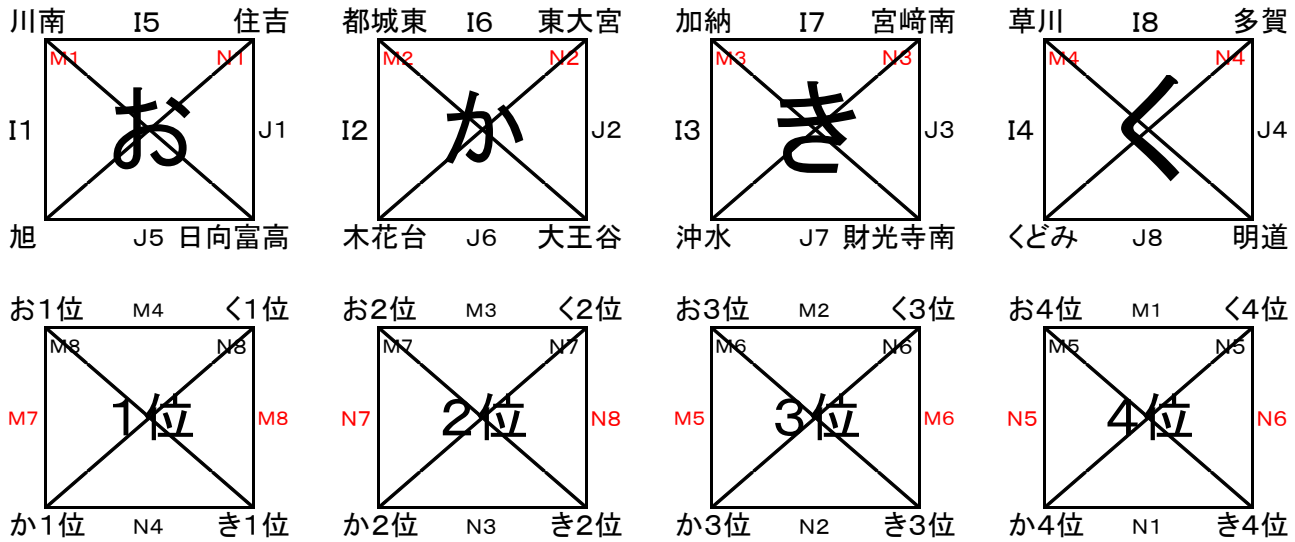
男子Ⅲ部　梅北小学校体育館　K･Lコート　8月26日



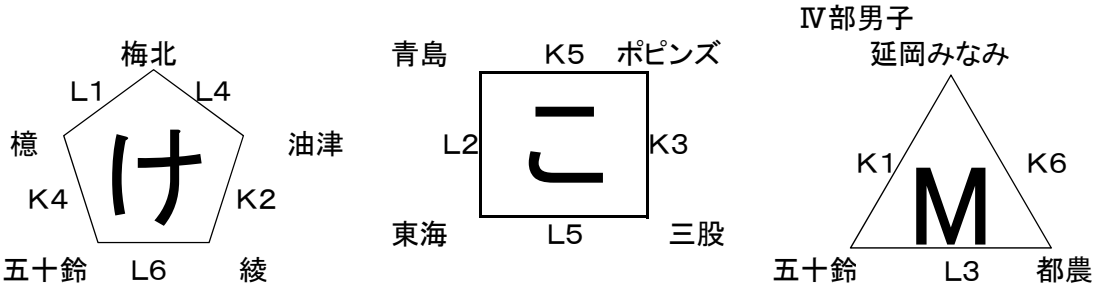
女子Ⅰ部　山田体育館　C･Dコート　8月25日･26日　早水体育館　A･Bコート　9月1日･2日



女子Ⅱ部　東小学校体育館　I･Jコート　8月26日　高崎体育館　M.･Nコート　9月1日･2日



女子Ⅲ･Ⅳ部　梅北小学校体育館　K･Lコート　8月25日



平成３０年８月５日
宮崎県バスケットボール協会 U-12 部会　審判部

代 表 者 会 議 資 料

１　第４２回交歓大会の競技規則等について

○　２０１３年日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則による。
※「第４２宮崎県ミニバスケットボール交歓大会実施要綱」に準ずる。

２　第４２回交歓大会の審判割り当てについて

○　リーグ戦方式により、各チームの帯同審判で運営していく。

○　出場チームは、審判ライセンスがＤ級以上の方を帯同審判とする。但し、2015年度までに日本公認資格を有していたＥ級の方は帯同審判として認められる。チームに、Ｄ級以上の審判がいない場合は、各地区や知り合いなどを通して、帯同審判を確保する。旅費、謝礼、弁当代については各チームで決める。帯同審判についても、５台以内の車台数に含む。

※　帯同審判用の駐車券はありません。相乗りしていただたくか、チーム内で工夫してください。

○　割り当ての変更や交代等は勝手に行わないようにする。意見や相談等があれば，必ず審判長に連絡を行う。その後、会場の審判主任と協議する。

○　JBA 登録時、審判ライセンスＥ級の方を帯同審判に登録しているチームは、審判長に、誰をＤ級以上の帯同審判としたか、事前に連絡する。

○　９月２日の男女１位パートについては、外部審判を招聘し、割り当てに考慮していく予定です。

３　審判員の方へのお願い

（１）　活動方針「尊重」「導く」「学び続ける」のキーワードに則りお願いします。

（２）　今大会の重点目標も、「ベンチ管理」です。

（３）　審判やテーブル・オフィシャルズ、相手チーム、自チームに対し、失礼な態度で接したり、言動などがあったりした場合などはテクニカルファウルをとり、守ってください。

- 子どもに対し「馬鹿」「アホ」「ボケ」などの人権を無視した言葉を発した時
- 殴るような真似をすることや、力ずくで恐怖を与えること
- 試合中、子どもに対し恫喝した場合（大きな声で、失敗を責めるようなことなど）

（４）　タイムアウト後、５０秒経過の合図で選手を送り出してください。６０秒経過の合図で試合が再開できるようにします。試合前、各ピリオド間は、スタートチェックをスムーズに済ませ、ブザーが鳴った時には、試合が開始できるようにします。明らかに遅い場合は、主審は、一度警告します。引き続き守れないようであれば、タイムアウトが残っていればタイムアウト、タイムアウトが残っていなければ、テクニカルファウルという処置をお願いします。

４　指導者の方へ

（１）　子どもはミスしたくて、ミスしているわけではありません。子どもには、失敗する権利があります。完璧なプレイヤーはいません。挑戦したことに対して、指導者は、認め、励ましましょう。恫喝などして、子どもを委縮させるようなことは、自分のコーチングテクニック、ティーチングテクニックがないことを表しています。

（２）　SNS などが進化している時代です。周りの誰が見ても、気持ちの良い試合になるようにしましょう。そのためにも、みんなで声を掛け合い、駄目なものは駄目という考えのもと、声を掛け合っていきましょう。指導者のみなさんを守るためでもあります。
（会場責任者、審判主任など県役員の方々、よろしくお願いします。）

（３）　「これまでの指導不足」と自分の責任にすることで、課題に対する解決策を考え、指導に生かすことができます。自分にとっても子どもにとっても Win-Win です。

５　連絡事項

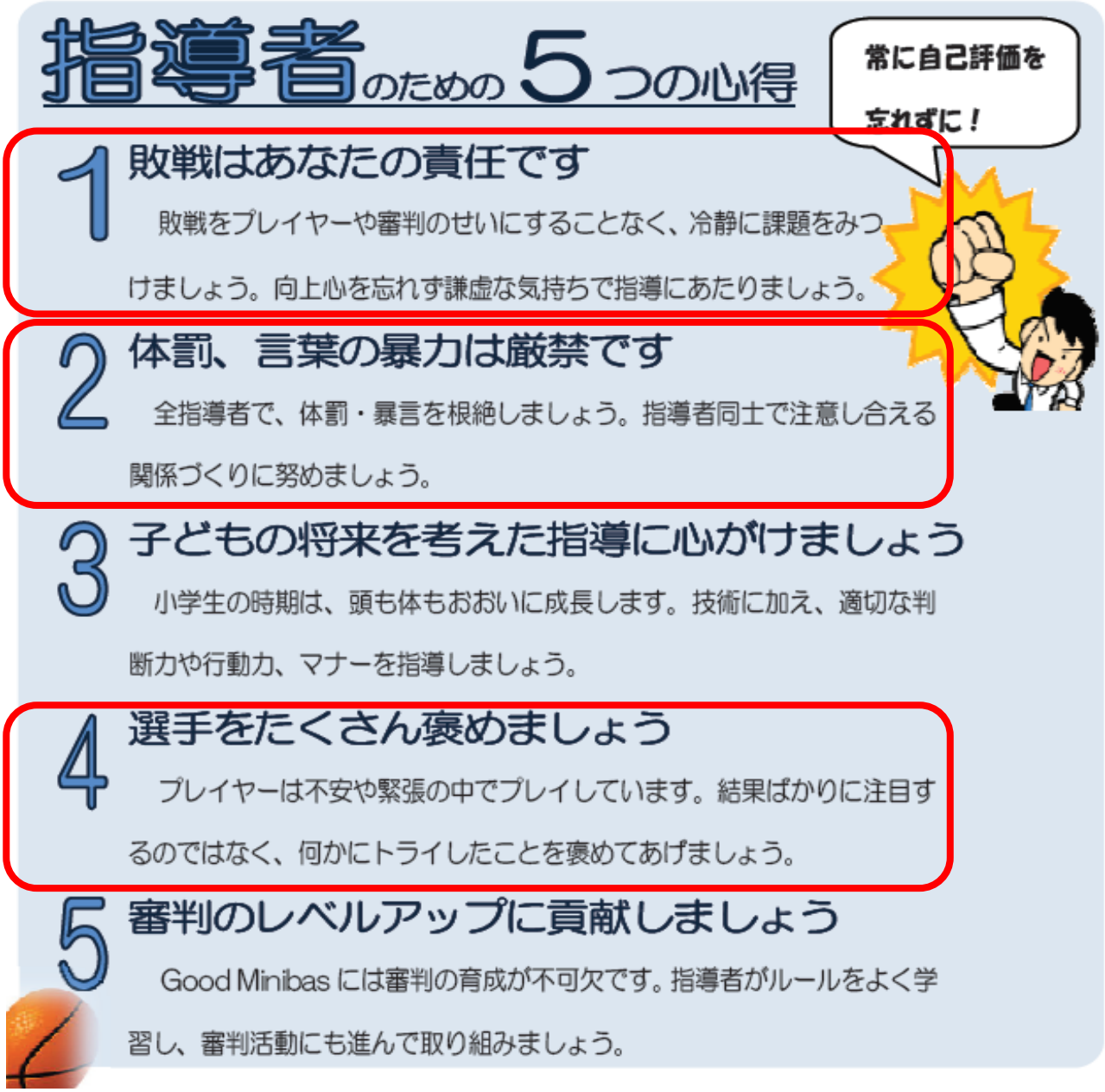
（１）　Ｄ級実技審査会について

- ９月か 10 月に、中学校の練習試合で Ｄ級実技審査会を行う予定です。実技審査を合格された方は、10 月 30 日（土）か 11 月１０日（土）のＢ級講習会に必ず参加してください。

（２）　Ｂ級審判員の方へ

- フィットネス及びルールテストは、11 月の宮崎県 U-12 チャンピオンシップ大会及び地区対抗戦で行う予定です。

「ミニバスケットボール５つの心得より」



ガンバレ！！
未来のスーパースター☆

都城給食センターは、
バスケットプレーヤーを応援します！！

代表取締役　蜂須賀　隆貴
都城市年見町27-8
TEL　0986-23-0356
FAX　0986-23-0435
フリーダイヤル　0120-25-0356

第42回宮崎県ミニバスケットボール交歓大会兼サカイカップ
お弁当の申し込みについて

都城給食センターさんへお弁当注文をお願いいたします。
下記注文書に必要な分の個数をご記入の上、この用紙をFAXにてお送りください。
代金は各会場にてお弁当と引き換えにお支払いをお願いします。

＊大人も子供も　1個500円です。

注　　文　　書

チーム名　　男子　・　女子

連絡先　申込責任者名

携帯電話

大会名　（　第42回県交歓大会・サカイカップ　）

	会場	個数	代金	領収書
1日目 8月25日				
2日目 8月26日				
3日目 9月1日				
4日目 9月2日				

都城給食センター　　TEL　　0986-23-0356
FAX　0986-23-0435

申込み期日：8月17日（金）までにお願いいたします。
なお、会場についてはリーグ戦で確定している会場をお願いします。
また、**ご注文の変更は大会開始の前々日の　13:00まで受付けます**ので変更の連絡は
同じ用紙で変更点が分かるように記入して頂き、同番号にFAXしてください。